V-1200, V-1500 & V-3000 USER MANUAL

Pro-V FOG

ACME Pro-Vフォグマシン取扱説明書
V-1200／V-1500／V-3000

はじめに

この度はＡＣＭＥ Pro-Vフォグマシンをお買い上げ頂きありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みください。当説明書をお読み頂くことで、長期間にわたりＡＣＭＥフォグマシンを安全かつ効果的にご使用いただけます。

注意！

感電の危険性があります！

リキッドを充填する前には電源を外し、機器のクリーニング、メンテナンスを行ってください。

感電の危険性

- 当機器は乾燥した状態を保ち、ご使用ください。
- 屋内使用向けです。屋外ではご使用にならないでください。
- アースは必ず取ってください。又、ご使用の前に、本体が定格電圧で設置されているかご確認ください。
- タンクを満たす前に、フォグマシンのプラグは必ず抜いてください。
- フォグマシンは常に水平に設置し、ご使用下さい。
- 使用しない場合は電源を切って、プラグを外しておいてください。
- この機器は防水効果がありません。湿気、水分、あるいはフォグリキッドが内部のハウジングに付着した場合、本体のプラグを直ちに外し、再使用する前にお買い上げの販売店にご連絡ください。
- ユーザ様ご自身で交換できる部品はございませんので、あらかじめご了承ください。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

火傷及び火災の危険性

- 本製品は子供の手の届かない所に設置し、ご使用下さい。また、ご使用中は必ず使用者がそばに居る常態で使用し、作動させたまま放置しないでください。
- 出力ノズルを直接人に向けないでください。
- 噴出中のフォグは、非常に高温です。運用中ノズルはあらゆるものから少なくとも 60cm は離すようにしてください。
- フォグマシンは換気の良い場所に配置してください。本体の排気口を決してふさがないでください。適切な排気を確保するために、本体の側面と上面の周りを 20cm 以上のスペースを空けるようにしてください。
- 出力ノズルを直火に決して向けないでください。
- ACME フォグマシンの清掃や点検を行う場合、必ず本体の電源を切り、機器の熱が下がってから行ってください。

爆発の危険性

- フォグリキッドにはいかなる種類の可燃性の液体（オイル、ガス、香水）であっても決して混ぜないようにしてください。
- 当社指定のフォグリキッドを使用してください。その他のフォグリキッドを使用すると気化が不完全な液体が漏れ出し、本体内部の循環回路を詰まらせる原因となります。
- フォグリキッドのタンクには十分な液体が入っていることを常に確認してください。液体なしに本体を運用してしまうとポンプやヒーターに損傷を与える可能性があります。
- 本体がうまく作動しない場合、直ちに使用を中止してください。タンクからフォグリキッドを全て排出し、お買い求めの販売店に症状をお伝えください。なお、修理の際サービスセンターに製品本体を送る場合は、できるだけお買い上げ時の箱を使用してしっかりと梱包してください。梱包が不完全なために発生するいかなる故障からも当社は免責されますのでご注意ください。
- フォグリキッドは絶対に飲まないでください。もし飲み込んでしまった場合、直ちに医師の診断を受けてください。またフォグリキッドが目に入ったり肌に触れたりした場合も、水で十分にすすいだ後、直ちに医師の診断を受けてください。
- 本体に記載されている警告ラベルや指示をよくお読みになり、正しくご使用ください。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

開梱と検査

まず梱包を解き、システム運用に必要な装置が完全な状態で届いたか確認してください。箱の中には以下の物が入っています。

1. Pro-V フォグマシン本体　電源コード付き
2. 取り付けブラケット　座金･ネジ付き (V-1200 のみ)
3. VW-12 マルチファンクションリモコン　付属コード付き (V-1200 のみ)
4. VW-30 マルチファンクションリモコン　付属コード付き (V-1500/V-3000 のみ)
5. 取り扱い説明書
6. 製品保証書

何らかの備品が紛失している場合、直ちにお買い上げの販売店までご連絡ください。

本体初期設定を始める前に、輸送による損傷がないかどうかを確認します。本体ケースまたはケーブルが損傷している場合はご使用をお控えいただき、お買い上げの販売店までご連絡ください。

準備方法

- フォグマシンから全ての梱包資材を取り除き、発砲スチロールやプラスチックパッドが、特にノズル付近から完全に取り除かれていることをご確認ください。
- フォグマシンを平らで安定した場所に設置し、フォグリキッドのタンクのキャップを外します。
- 当社指定の専用リキッドを充填します。その他のフォグリキッドを使用すると本体を痛める可能性がありますので絶対におやめください。充填が終えたら、リキッドタンクにキャップをしっかりと締めます。液面が最大限度を超えないように注意し、入れすぎないでください。
- 本体後方部分にある入力端子に VW-12 または VW-30 コントロールモジュールケーブルをしっかりと取り付けます。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

V-1200 の運用方法

・リキッドタンクに液体を充填します。入れ過ぎないようにしてください。
・リモコンコードを本体後方部分のリモコン用スロットにつなぎます。
・電源コードを接地された電気コンセントにつなぎます。本体の後方部分にある電源スイッチを[ON]に設定します。リモコン上の赤色のランプが点灯し、数分間のウォーミングアップが始まります。この間はフォグは出ません。ウォーミングアップが完了すると、リモコン上に緑色のランプが点灯します。
・フォグを生成するには、リモコン上の緑ボタンを押します。V-1200 は VW-12 リモコンを通じてコントロールできます。

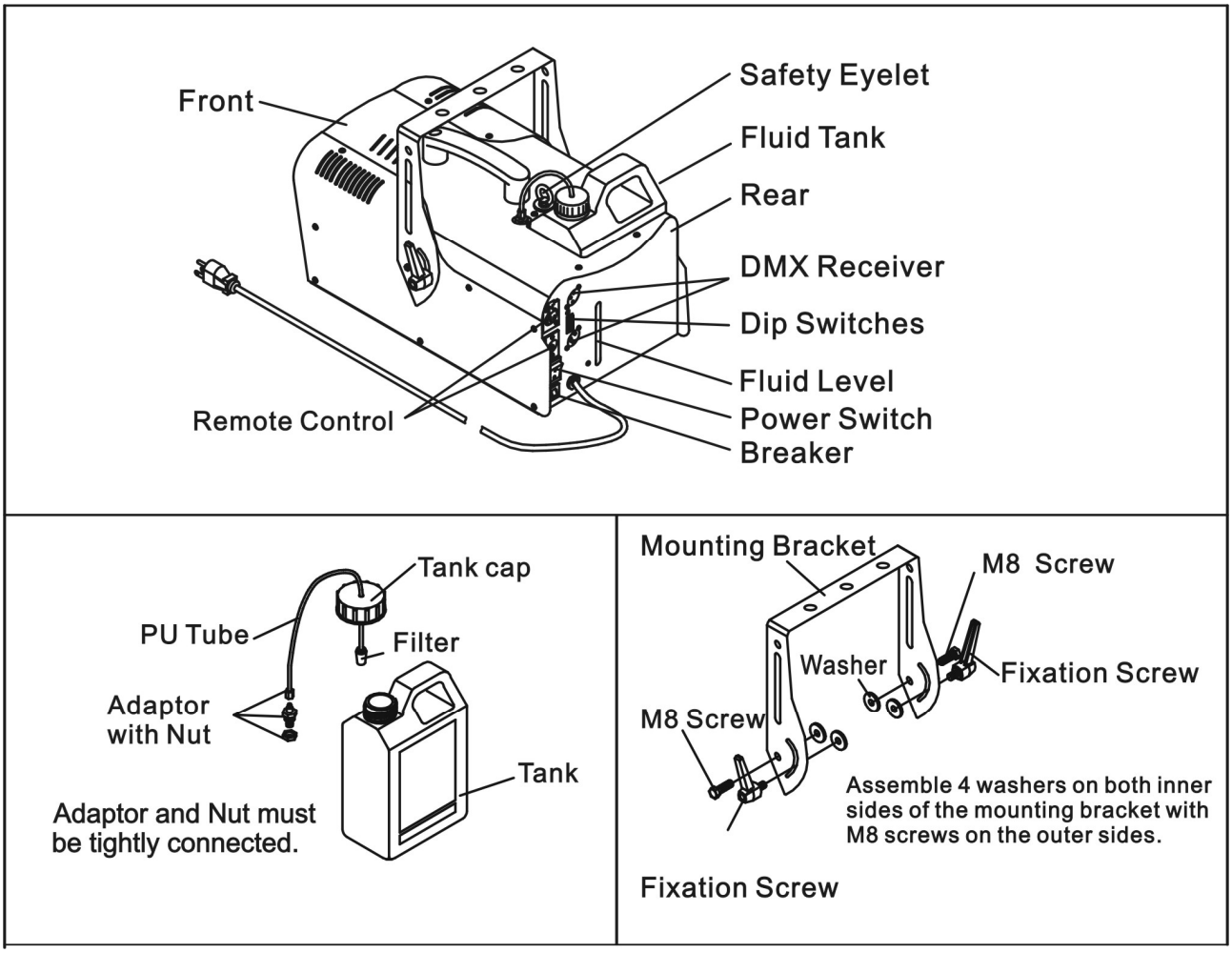
重要！

運用中はタンクの液面レベルに注意してください。
液体のない状態でのマシン運用は、本体の損傷につながります。

V-1200 には天井に設置するための取り付けブラケットが付属されています。ブラケットを使用して頭上に取り付けた場合は、絶対に人居る方向に直接噴出しないようにしてください。いかなる場合も、25°C以上の傾斜がある所には設置しないでください。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

V-1200 解説図



注:液面レベルセンサーが本体に備え付けられています。液体が使用可能レベルを下回ると、マシンはフォグ噴出を停止します。

出力が低くなったり、ポンプから異常音が発生あるいは全く出力なしの場合には、直ちに電源プラグを抜いてください。液面レベル、外付けヒューズ、リモコン接続、壁の電源部分をチェックしてください。もしそれらに問題がなければ、再び電源プラグを入れます。リモートボタンを 30 秒間押し続けてもフォグが出ない場合は、タンクにつながれたホースをチェックし、液体がホースを通って来ているか確認してください。問題点が確定できない場合は、本体に損傷を及ぼす危険があるためリモートボタンを押し続けず、販売店に連絡してください。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

仕様

モデル	V-1200
電源	100/230V AC50/60Hz～
消費電力	1250W
出力ボリューム	500 ㎥/分
タンク容量	2.5 ℓ
液体消費量	44 分/ℓ
重量	11kg
寸法 (L×W×H)	480×250×260mm
付属リモコン	VW-12
ウォーミングアップタイム	10 分

リモートコントロールオペレーション

◆VW-12

V-1200 用の4ピンプラグ付き 10m ワイヤーマルチ機能リモートコントローラー。

[Interval]のツマミはタイマー機能が起動している時の放電時間を10秒から250秒の間で調節します。

[Volume]のツマミは発生させるフォグの量を 0%から 100%の間で調節します。

[Duration]のツマミはフォグ噴出の継続時間を 1 秒から 15 秒の間で調節します。

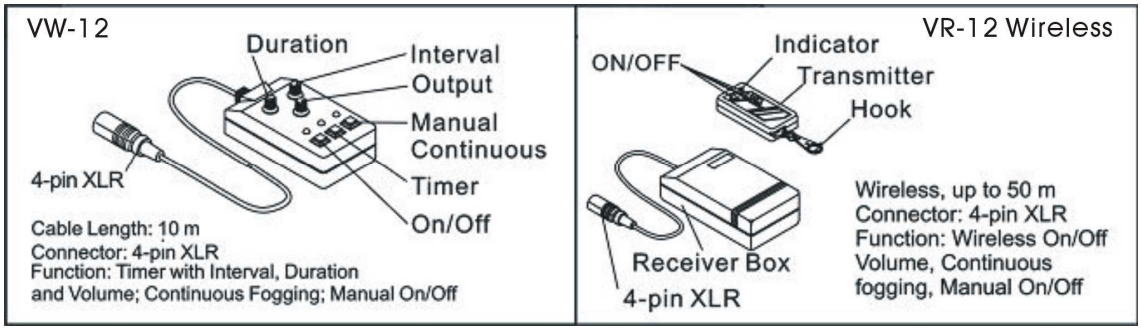
黄色の[TIMER]ボタンはタイマー機能をコントロールします。押すと起動します。起動すると、黄色のランプが点灯します。[Interval]のツマミを調節することにより、フォグの出力が 10 秒から 250 秒の間で決められます。出力の継続時間は 15 秒間に設定されています。フォグの量は[Volume]のツマミで調節してください。

赤色の[CONTINUOUS]ボタンはフォグ噴出を継続させます。赤いボタンを押して、この機能を起動させてください。[Volume]のツマミはフォグ噴出の規則的に出る量を調整するのにも使用します。

緑色の[MANUAL]ボタンは、押している間、最大量の噴出を持続させます。ボタンを離すと手動機能は停止し、直前の設定に戻ります。

注：継続機能はタイマー機能より優先されますので、両方のボタンを押した場合はフォグが出続けます。手動機能はすべての機能の中で最優先されます。長押ししている間は、元の設定に関わらず最大量で噴出します。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。



【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

V-1500 と V-3000 の運用方法

・リキッドタンクに液体を充填します。入れ過ぎないようにしてください。
・電源プラグがマシン使用時に利用しやすい位置に配置してください。
・電源コードを接地された電気コンセントにつなぎます。本体の後方部分にある電源スイッチを[ON]に設定します。コントロールモジュール上のディスプレイに[Ready to Fog]と表示されると、ウォーミングアップ完了です。
・フォグを生成するには、コントロールモジュール上の適切なボタンを噴出したい時間だけ押します。
・コントロールユニットのディスプレイは、マシンが作動適温まで上がった時、[Warming up]と[Ready to Fog]を表示します。

このモデルは床または平らな面上で運用してください。いかなる場合も、25°C以上の傾斜がある所には設置しないでください。

重要！

運用中はタンクの液面レベルを常時モニターしてください。
液体のない状態でのマシン運用は、本体の損傷につながります。

注：液面レベルセンサーが本体に備え付けられています。液体が使用可能レベルを下回ると、マシンはフォグ噴出を停止します。
フォグ出力が低くなったり、ポンプから異常音が発生あるいは全く出力なしの場合には、直ちに電源プラグを抜いてください。液面レベル、外部ヒューズ、リモコン接続、壁の電源部分をチェックしてください。もしそれら全てに問題がなければ、再び電源プラグを入れます。リモートボタンを 30 秒間押し続けてもフォグが出ない場合には、タンクにつながれたホースをチェックし、液体がホースを通って来ているか確認してください。問題点が特定できない場合は、本体に損傷を及ぼす危険があるためリモートボタンを押し続けず、販売店に連絡してください。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

仕様

モデル	V-1500	V-3000
電源	100/230V AC50/60Hz～	
消費電力	1500W	3000W
出力ボリューム	700 ㎥/分	1400 ㎥/分
タンク容量	6 ℓ	6 ℓ
液体消費量	12 分/ℓ	6 分/ℓ
重量	14 kg	20kg
寸法（L×W×H）	688×285×188mm	735×310×192mm
付属リモコン	VW-30	VW-30
オプションリモコン	VR-30	VR-30
ウォーミングアップタイム	11 分	12 分

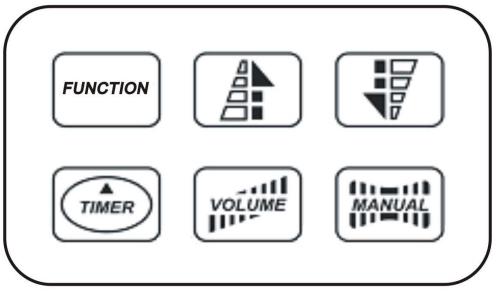
コントロールモジュールオペレーション

◆VW-30

V-1500/V-3000 用の5ピン XLR コネクター付き10mワイヤーマルチ機能リモートコントローラー。

・このインターフェースでは、フォグ噴出の継続時間、停止間隔、ボリュームを調節することで、フォグマシンの機能をカスタマイズして使用することができます。LCD 上に現在の運用パラメータの状態が表示され、メモリによって詳細が自動的に記録されるため、設定機能の内容を失うことなくマシンの電源を切ることができます。（次回立ち上げ時には、前回設定された内容が残ります）

表示説明

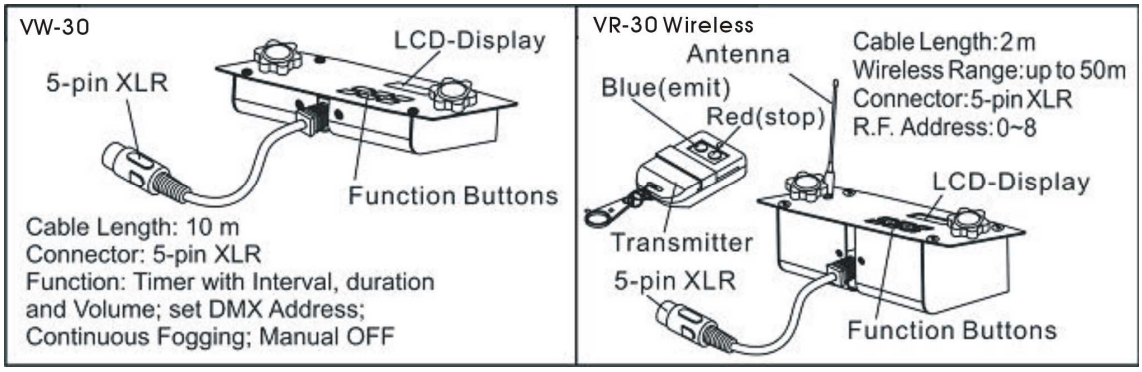


【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

1. [FUNCTION]キーを使って、希望する設定が行えます。機能キーを 1 回押すと、ディスプレイには[Interval Set (停止間隔設定)]が表示されます。各フォグの噴出間隔 (1 秒から 255 秒までの範囲内で) を、Up/Down キーで調整します。機能キーを 2 回押すと、ディスプレイには[Duration Set (継続時間設定)]が表示されます。各フォグの噴出時間 (1 秒から 20 秒までの範囲内で) を、Up/Down キーを用いて調整します。[Timer Out (タイマーアウト)]と[Volume Out (ボリュームアウト)]のメニューでは、Up/Down キーを用いることによって噴出ボリュームを調整できます。[DMX Add (DMX アドレス)]のメニューは、DMX コントロールまたは同期化のために DMX アドレスの調整を行うことを示しています。Up/Down キーを用いて希望する DMX アドレスの調整を行います。
2. タイマー機能を起動させるにはタイマーキーを押します。ディスプレイでは設定された間隔を示し、マシンは[0]になるまで秒をカウントします。その後、[Timer Out]のもと設定されたボリュームでフォグが噴出します。噴出時間は、[Duration Set]のもと設定された時間となります。タイマー機能をオフにしたい場合は、タイマーキーをもう一度押します。
3. ボリュームキーを押すと、[Volume Out]で調整されたボリュームでフォグの噴出が直ちに行えます。フォグの噴出を停止するにはボリュームキーをもう一度押します。
4. マニュアルキーを押すと、100%のボリュームでフォグの噴出が直ちに行えます。フォグの噴出を停止するには、マニュアルキーを解除します。

◆ VR-30

全ての VW-30 はワイヤレス容量を備えており、最大 50mの距離でワイヤレス運転が可能です。アドレスは 0 から 8 まで設定できます。異なる 9 体を個別または組み合わせてコントロールできます。[FUNCTION]キーを押して RF モードにし、希望のアドレスを選択してください。VR-30 のアドレス設定がトランスミッターのアドレス設定と一致することを確認してください。トランスミッター上の青色はフォグを噴出させ、赤色は停止させます。



[許可なく複製および本文または写真の引用を禁止] ©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

性能上の注意

・出力ノズルの下の表面に蒸気が堆積する場合があります。
本体を設置する場合には、設置面の汚れ防止の措置を行って下さい。

・フォグマシンは、運用中および本体の電源を切ってから1分間位は、微量のフォグを放出する場合があります。

・全てのフォグマシンには、フォグの噴出後、一定のリサイクリング時間が必要です。マシンは、再加熱するために短時間の間、自動的にシャットダウンします。この間、フォグは出力されません。

メンテナンス

フォグリキッドには不純物が混ざらないようにしてください。充填が終わったら、タンクにはキャップを常に締めるようにしてください。40時間の使用毎に、洗浄水（80%の蒸留水と20%の食用酢）を使用し、加熱部の特殊成分の堆積を防止します。
効果的な清掃手順は以下の通りです。

1. マシンからフォグリキッドを全て抜き取ります。タンクに洗浄液を入れます。本体にプラグをつなぎ、ウォーミングアップさせます。
2. タンクが少なくなるまで、換気の良い所で本体を作動します。ポンプが乾いてしまうまでは作動しないようにしてください。
3. ノズルを交換します。
4. 清掃は完了です。フォグリキッドを詰め直し、ポンプやヒーターから洗浄水が除去されるように手短に本体を作動させてください。
5. いかなる場合も、液体なしでフォグマシンを作動させないでください。

清掃には乾いた布のみを使用してください。
フォグマシンの定期清掃は、パーツ交換や修理費用の削減につながります。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

保管方法

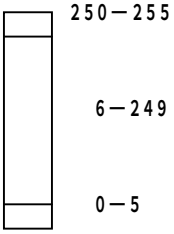
1．保管の際は蒸留水で、洗浄手順に従ってすすぎます。これにより、ポンプやヒーター内部の凝結を防ぐことができます。

2．ベストな噴出状態を保つために、月一回程度のテスト運用をお勧めします。テスト運用はマシンをウォーミングアップさせ、フォグを数分間噴出させます。その後、上記手順に従って保管してください。

この説明書はよくお読みになり、大切に保管してください。

DMX を搭載したフォグマシンの設定

チャンネル(DMX チャンネル 1Ch のみ使用)



0－5＝停止

6－249＝ボリュームコントロール（5%から95%）

250－255＝最大ボリューム出力（100%）

Z-1200 II /V-1500/V-3000 のフォグマシンに搭載されている DMX コントロールの運転調整出力は1チャンネルを使用しています。各チャンネルは0－255の範囲があり、DMX コントローラーや DMX コントロールソフトウェアを使用してプログラムできます。

一般：DMX 搭載 ACME フォグマシンのスペック、性能は以下の通りです。

1. 平均運転温度＝摂氏250度
2. フォグは最大30秒間以上出力することができます。
3. フォグボリュームは25%設定でコンスタントに運転することができます。(設定値はおよそ75)

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

V-1200 のアドレスについて

各デバイスは 1 チャンネルの割り当てを必要とします。コントロール信号が各デバイスに適切に指示を出しているか確認してください。DIP スイッチを変更することにより、下記の表の通り調整されます。

各デバイスを正確に、DMX データリンク上のいかなるものからも独立してコントロールするため、重複したチャンネルがないことを確認してください。同じようなアドレスを指定されると、それらのデバイスは同じような動作をします。

DIP スイッチの作用

Setting the DMX-starting address:	DIP-switch no.	1	2	3	4	5	6	7	8	9
Device number & channels	Starting address	1	2	4	8	16	32	64	128	256
Device 1 - channel 1	On	▲								
	Off		▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
Device 2 - channel 2	On		▲							
	Off	▽		▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
Device 3 - channel 3	On	▲	▲							
	Off			▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
Device 4 - channel 4	On			▲						
	Off	▽	▽		▽	▽	▽	▽	▽	▽
Device 5 - channel 5	On	▲		▲						
	Off		▽		▽	▽	▽	▽	▽	▽

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

メンテナンス

長期間にわたり機材の安定した性能を保つ為には日頃のメンテナンスが欠かせません。特に煙の多いところや埃の多い場所でのご使用の際は、定期的にメンテナンスを行う必要があります。
お客様で行う事の出来る日頃のメンテナンスは本体クリーニングおよびファンの清掃などです。
本体筐体は市販のクリーナー等を用いて乾いた布で外側を清掃します。また、ファンに関しては掃除機等で定期的に埃を吸い上げるようにしてください。一般的には本体外側に関して約20日おき、ファン清掃は30日～60日がメンテナンスの目安です。特に汚れがひどい場合や本体内部に埃がたまっていると見受けられる場合には販売店にご相談ください。

製品の保証

この製品は当社の厳密な検査に合格して出荷されたものです。ご使用中に万一製造上の不備による故障が発生した場合は、別途保証書に記載された保証規定に従い保証期間に限り無償修理致します。
また、本製品は下記輸入元の正式な手続きを経て輸入されており、それ以外のいかなる者により国内に調達された製品に関してはどのような場合にあっても製品保証の対象外とさせていただきますのであらかじめご了承願います。
This warranty program is valid only in Japan.

修理に関する御相談先

▼国内輸入総代理店
GRAPHICA セールスネットワーク HQ　技術部
電話：086-242-5105　　FAX：086-242-5106
修理品の送付先：〒700-0976　岡山県岡山市辰巳 421-1-301

※製品を送付される前に必ず御連絡をお願いします。また、無償修理の場合保証期間内であることが証明された「製品保証書」が必要になります。それ以外の修理はいかなる場合においても有償となりますのでご了承ください。
また、製品の不具合、故障につきまして、販売店もしくは輸入元に送品する前にその症状、発生頻度などをできるだけ詳しく記載したメモを同封いただけますと迅速な修理が可能です。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copylight ACME Lighitng Co.,LTD
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。